

あの日进行。

あれから6年。あの日、トリフォニーホールで響いたマーラー5番をインバルとともに。



エリク・インバル
ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団

マーラー

交響曲第5番

Gustav Mahler: Symphony No. 5 in C sharp minor
ワーグナー
楽劇《トリスタンとイゾルデ》より「前奏曲とイゾルデの愛の死」
Richard Wagner: Prelude and Liebestod from "Tristan und Isolde"

2017.3.13 [月] 19:00開演
料金 [全席指定]
S ¥11,000 A ¥9,000 B ~~¥8,000~~ C ~~¥7,000~~



○トリオ割:1公演につき同時に3枚以上のお申込みで5%引き
○すみだ区割・すみだ学割あり
●2公演セット券
《3/11新日本フィル×3/13ベルリン・コンツェルトハウス管》
S席のみ¥16,200 =好評販売中=
[お申込み・お問合せ]
トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212
トリフォニーホールチケットオンライン triphony.com

すみだトリフォニーホール

JR&東京メトロ「錦糸町駅」より徒歩5分/すみだ北斎美術館より徒歩10分



上岡敏之指揮
新日本フィルハーモニー交響楽団
マーラー:交響曲第6番 イ短調《悲劇的》
Gustav Mahler: Symphony No. 6 in A minor, "Tragic"
2017.3.11 (土) 18:00開演
料金 [全席指定]: S ¥7,000 A ¥6,000 B ¥5,000 C ~~¥4,000~~

マーラーの5番には、将来への祈り、希望と喜びがあります

東京大空襲(1945年3月10日)で大きな被害を受けた東京の下町。その地にあるすみだトリフォニーホールは、オープン以来「すみだ平和祈念コンサート」の開催を重ねてきた。2017年は、まず同ホールを本拠地とする新日本フィルが登場(3月11日/表面参照)。続いて、すみだトリフォニーホールが開館当初から提携してきたベルリン・コンツェルトハウスからホール名を冠したオーケストラが参加、マーラーの交響曲第5番を演奏する(3月13日)。この曲は、東日本大震災(2011年3月11日)当日、困難な状況下でハーディング指揮の新日本フィルが演奏したゆかりの作品でもある。

後者の指揮を執るエリアフ・インバルに、コンサートへの思いを聞いた。

マーラーの交響曲第5番

「これはマーラー自身の言葉ですが、“私の交響曲には全宇宙が現れている”と。期待や歓喜、悲劇、別世界への憧れ、死と別離。それらが直線的ではなく、皮肉や風刺を含みながら、やがて楽観的なフィナーレを迎える。

特に交響曲第5番には、以上の全てが含まれていると思います。第1楽章は〈葬送行進曲〉ですから、このような機会に演奏するのは相応しいですね。第2楽章も悲劇的な内容です。第3楽章〈スケルツォ〉には闘争があり、第4楽章〈アダージェット〉では愛について語られます。

これこそは将来への祈りであり、惨禍の後に来たるべきものを暗示しています。第5楽章〈ロンド・フィナーレ〉には希望と喜びがあります。それは単純なものではなく、本当に確かなものかどうかという疑問符を伴うのですが、一種の勝利を表現している。とてもポジティブな結末を迎える曲になっています。

私がマーラーの音楽に出会ったのは10代の半ば、交響曲第1番《巨人》で、聴いた時は大きなショックを受けました。それまでにベートーヴェンやブラームスを知っていましたが、特にブラームスの交響曲第4番第2楽章を聴いた時は、自分がいつか死ぬ時、この楽章を指揮しながら空の中に消えていきたい、と思ったくらい感動したのです。

しかし、マーラーに出会って、“これは私の音楽だ”と思いました。マーラーは自分のために作曲してくれたのだ、という気持ちになったのです。そういう体験は初めてでした。ですから、本当にマーラーは“私の作曲家”だと言えます」

ワグナーの《トリスタンとイゾルデ》
「《トリスタンとイゾルデ》はワグナーの中でも格別の作品です。宇宙の創造の神秘に直接導いてくれる音楽ですね。愛の悲劇性、宇宙の創造の悲劇性に会わせてくれる、特別な曲です。

最後の〈イゾルデの愛の死〉は、オペラ全曲

のエッセンスと言うべきもの。偉大な愛、絶対的な愛は、地上では叶えられない。地上で可能なのは憧れを持つことだけ。愛の中で死んでこそ、宇宙の一部となることができる。そこで愛が成就する。これが《トリスタンとイゾルデ》のテーマです。今回演奏するのは〈前奏曲〉と〈イゾルデの愛の死〉だけですが、その18分間で、凝縮されたオペラの精髓を聴いていただけたらと思います」

すみだトリフォニーホールの思い出

インバルは2005年にも「すみだ平和祈念コンサート」に参加。ベルリン交響楽団(現ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団)とともにベルリオーズの《幻想交響曲》などを演奏した。

「当時のことはよく憶えています。私はホールの音響にとっても関心があるのですが、すみだトリフォニーホールの音響は、それまでに経験していたサントリーホール、東京文化会館、東京芸術劇場などとは全く違う、新しいものでした。しかし私たちはすぐにホールの音響に対応して、良いコンサートになった記憶があります。

ホールの形状も興味深く、とても美しくモダンな建築だと思います。ロンドンやパリと比べても、東京に良いホールが多いのはとても素晴らしいことですね」

2016年9月18日

取材・文/友部楽樹

エリアフ・インバル

Eliahu Inbal

イスラエル生まれ。エルサレム音楽院でヴァイオリンと作曲を学び、その後パリ音楽院に学んだ。フランクフルト放送響、ベルリン・コンツェルトハウス管、チェコ・フィル、

東京都交響楽団などの首席指揮者を歴任。2016年80歳となった。フランクフルト放送響の任期中に多数の受賞を誇る録音を行い、特にマーラーとブルックナーの解釈で国際的に称賛されている。仏独政府およびウィーン市とフランクフルト市より叙勲を受けている。



ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団 Konzerthausorchester Berlin

1952年創立。旧称ベルリン交響楽団(Berliner Sinfonie-Orchester)。クルト・ザンデルリンクの首席指揮者在任中(1960-77)に欧州の名門オーケストラとしての存在を確たるものとした。以降の首席指揮者にグンター・ヘルピッヒ(1977-84)、クラウス・ペーター・フロール(1984-92)、エリアフ・インバル(2001-06)等がいる。現在の首席指揮者はイヴァン・フィッシャー(2012-)。ドミトリー・キタエンコが首席客演指揮者を務めている。

チケットのご案内

- 3/11(土) 上岡敏之/新日本フィルハーモニー交響楽団
S¥7,000/A¥6,000/B¥5,000/C¥4,000・売切
- 3/13(月) エリアフ・インバル/ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団
S¥11,000/A¥9,000/B¥7,000・売切/C¥5,000・売切
*トリオ割:同時に1公演につき3枚以上のお申込みで5%引き
*すみだ区割(区在住在勤)、すみだ学割あり
- 2公演セット券:S席のみ ¥16,200

ご予約・お問合せ

トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212
トリフォニーホールチケットオンライン www.triphony.com

前売り(1回券のみ)

e+(イープラス) eplus.jp

チケットぴあ 0570-02-9999 pia.jp [Pコード:311-774(3/11)・311-775(3/13)]

ローソンチケット 0570-084-003 l-tike.com [Lコード:32703]

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

[CD情報] エリアフ・インバル(指揮)/フランクフルト放送交響楽団

●マーラー:交響曲第5番/日本コロムビアCOCO73074 ¥1,143(税抜)



●トリフォニーホール託児サービスのご案内*お申込み・お問合せ 0120-500-315[平日10:00-17:00]
小学館集英社プロダクション総合保育サービスHAS(ハズ)

新日本フィルハーモニー交響楽団特別演奏会

2017年3月12日(日)14:00開演/ウエスト川越 大ホール
指揮:上岡敏之/マーラー:交響曲第6番 短調《悲劇的》
[ご予約・お問合せ]
新日本フィル・チケットボックス 03-5610-3815
(月~金:10-18時、土:10-15時/日・祝休)
新日本フィルチケットオンライン www.njp.or.jp

主催・企画:すみだトリフォニーホール

招聘制作:(株)ジャパン・アーツ(3/13)

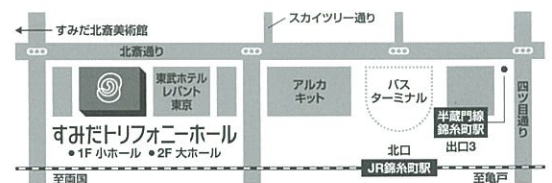
協力:(株)ヒラサ・オフィス(3/11)

(公財)新日本フィルハーモニー交響楽団(3/11)

平成28年度文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業

@TriphonyHall

facebook.com/SumidaTriphonyHall



JR&東京メトロ「錦糸町駅」より徒歩5分/すみだ北斎美術館より徒歩10分

すみだトリフォニーホール